

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターしいのみ学園				公表日	2026年 3月27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	0	子ども達の能力や発達を見て指導訓練のスペースや広さ、オモチャを設置していると思います。 子どもたちが走り始めたら事故を防ぐために歩くよと声かけをしたり、他の遊びに誘うなどしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	5	職員の配置は適切だと思います。	バスにのる職員が足りていないと思う。 職員が休みの際にフォローに入れる職員がいないこともあるため苦しく思うことがある。 特にパート勤務の先生達が一言に休みの日が子どもを見る目が不足する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	4	仮園舎ですが工夫して環境を整えていると感じています。 給食のメニューや1日の日課の流れをひらがなで書いて視覚化している点。	子どもの持病（てんかんなど）や新入園児に関する情報の共通理解ができておらず、いざという際の対応や連携に不安がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16	2	活動に合わせてプレイルームを使用したりしているので子ども達に良いと思います。掃除もキレイに拭き掃除している。 その日のうちにその日の汚れを落とすように掃除の時に心がけている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	2	プレイルームや空きスペースを活用して工夫している。 カーテンで仕切りを作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	9		振り返りアンケートの保護者の意見をもっと活用すべき。 子どもの支援目標に対する振り返りが十分でない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	6	LINEでお知らせをし、インターネットで回答しやすくしている。	振り返りアンケートの保護者の意見をもっと活用すべき。 感想に書かれていることについての改善がなされない(例えば時間など)。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	6	意見があったら記入するように心がけている。	アンケートはとられる機会はあったがそれに対する返答や改善はなかった。 行事前のミーティングを度々行っているが形だけになっている部分がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	5		第三者評価や、監査の結果を分かりやすく提示してほしい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	7		職員研修をしっかり受けたい。 外部研修も積極的に参加したい。 研修内容が子どもの特性や支援について客観的な知識等に基づいたものもあるとさらに職員の資質向上につながると思われる。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16	0	クラス主任の先生がしっかりされている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	3			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	2		地域支援・地域連携の部分は不足している。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	4		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	4		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	3		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	パートは朝簡単に説明いただいたり、事前に書類で連絡いただいている。 ミーティング録の共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	2	月に一度のミーティングはあります。 気付いた点はなるべく早くに共有するようにしている。 質問をしてどう対応したら良かったのか意見を聞いている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	2	記録用紙に気づきや仮説などを残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	3		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	8		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	11	5		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	11	5		研修への参加などは個人の努力に委ねられている部分が大きい。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	6		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	12			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16	0			

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	5		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	2		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	2		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15	1		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12	4		きょうだい同士の交流の機会はない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	2	主任の先生に報告相談を行うようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	0	しいのみだよりを毎月発行している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	0	名簿は引き出しに入れて管理するように心がけている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15	1	指示は短く簡潔にを常に意識している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	4	マスクの着用、バス内での手指消毒を行なっている。	緊急時対応マニュアルの共有はあるが、発生を想定した訓練はもっとするべきだと思う。月に一度の避難訓練は子どもを一時的に集合させる対応のみで、職員間での実際の動きや危険箇所の共通理解などにはつながっていない。実際に発生した時の対応に不安がある。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	5	避難訓練は定期的に行っている。	避難訓練があるから部屋に戻ろうなど、部屋にすることが前提の避難訓練がほとんどだと感じる。いづどこで災害が起きても対応できるように訓練する必要があると思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	17	0	資料を読み、アレルギーの有無とてんかん発作の有無を確認している。	受け持つクラスの園児に対する確認はあるが、他クラスの園児に関する確認は不十分である。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	5	その場の指示に応じた対応を心がけている。	安全が十分に管理されているかは疑問。トイレの床が抜けるなど安全管理は十分とはいえない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12	4		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	6	何かあったら報告し、その都度対応をクラス担任間で検討している。	職員会議や朝礼でヒヤリハットを共有すべき。防げる怪我、事故が多い。朝礼など全職員が共にする場での共有や検討の仕組みが足りていない。一部の職員間での伝達に留まっている。

52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	3		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	15	1		